

1. 暑さ対策について

	タイトル	意見等
1	徳島県警の職員の負担軽減	徳島県警の方々が屋間もパトロールなどされていますが夏場は暑く能率が低下すると思います。 徳島県警独自で屋外用に正式採用の空調服など用意できないのでしょうか？ また他都道府県のようにサングラスも認めるべきでは無いのでしょうか？
2	各市町村の広報誌への掲載のお願い	酷暑の時期に、屋外の日の当たる場所に犬を繋いだり、日中にお散歩をしている飼い主さんを見かけます。県下の各市町村の8月号の広報に、以下のお知らせを掲載して下さるよう、県からご要請いただけないでしょうか。地球温暖化により発生している夏の高温や豪雨は、人間だけではなく、動物たちにも影響を与えています。犬の命や健康を守るため、飼い主さんは下記の点に注意をお願いします。 1. 散歩 夏の炎天下では、アスファルトの表面が60℃以上になることがあるため、肉球のやけどにつながります。散歩に行く前に路面に手を置いて、温度を確認しましょう。 また犬は、地面との距離が近いので、人間以上に暑さを感じ熱中症になりやすくなりますから、十分な注意が必要です。 ・散歩は明け方から6時ごろを目安にし、28℃になる前に帰宅。夜は熱帯夜を避け、散歩が許可されている公園や草木が茂っていない河川敷などを利用しましょう。 ・帰宅したら新鮮な水を十分に与え、涼しい部屋で体温を下げましょう。 2. 飼育環境 ・室内の涼しい場所での飼育が望ましいですが、やむを得ず屋外で飼育する場合は、一日中日光が当たらない位置か、一番日差しがきつい時間帯に日陰になる位置に、犬小屋を置きましょう。 ・犬小屋の周りを、よしずなどで覆うのも効果があり、土や芝生の上など、表面温度が上がりにくい場所もお勧めです。 ・新鮮な冷たい水が、いつでも飲めるように、氷を入れる方法もあります。 3. その他 ・外出時に犬だけを車内に残すのは、熱中症につながる恐れがあり大変危険です。 ・ノミやダニ、蚊によるフィラリア（病気）を防ぐため、お薬を飲ませましょう。 ・狂犬病予防法で義務付けられている「狂犬病予防注射」をきちんと受けさせ、「犬鑑札（又はマイクロチップ）」と「予防接種済票」を必ず首輪やハーネスに着けて下さい。 暑さの厳しい時期にペットも安全に過ごせるよう、体調管理に注意をお願いします。
3	子供の熱中症対策について	私は、夏場の子供達のスポーツ大会を中止するべきだと思います。 夏に大会があると大会に向けて練習しますし、特にスポーツ少年団の指導者はスポーツ指導の研修などを長年受けずに指導されている方が多いため、熱中症に対する危機感があまり無いように感じます。 私の息子の通う学校の野球スポーツ少年団では、熱中症で倒れ一時意識不明で生死をさまよったお子さんがいらっしゃいました。そんなことになっているにも関わらず、その指導者は大会があるからといって翌日も子供達を炎天下の中、指導していました。 これは指導者の問題もありますが夏場に大会や練習試合を開くという危険なことを分かっている大人達の問題、過去の風習を変えられない問題と考えます。 徳島県には特にスポーツ少年団へ大会を開かせない、夏熱中症警戒アラート発令や現場の黒球湿球温度の基準が超えるような時には大会や練習を即時中止するという強制力をもった通達をして頂きたいと願います。 後藤田知事はスポーツのことをよく理解している方だと存じております。 是非、子供達の命の為にぜひご決断をお願い致します。